

本時のねらい

- ・2位数の十進位取り記数法について理解し、2位数を数字で書くことができる。
- ・数の表し方を考えたり説明したりする。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・10の束、ばらの棒の図をいくつでも自由に素早く動かすことができ、また、操作した図を記録として残すことができる。
- ・児童に配付する発表ノートに、事前に十進位取り記数法の仕組みを準備しておくことで、児童のタブレット上の発表ノートと同じものをスクリーンで投影しながら、スムーズに指導することができる。
- ・練習問題を個々の端末に配ることで、児童一人ひとりのペースで集中して問題に取り組むことができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・スクリーン ・発表ノート (sky menu class)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習をふり返る 【写真1】 ・タブレット端末の発表ノートを使ってばらばらにした数え棒を見やすく並べ、数を読み上げる。 ○本時のめあてを確認する。 「大きいかずをすう字でかこう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表ノートの10の束、ばらを素早く簡単に動かすことができる。
展開 (32分)	<ul style="list-style-type: none"> ○読み上げた数「さんじゅうろく」をどのように書けばよいか考える ・10が3つで30 ばらが6つで6 【写真2】 ・「306」とならないのはどうしてかを考える。 ○グループに分かれ、考えたことを発表する。 ・ホワイトボードにかいて、全体に共有する。 ・十進位取り記数法のしくみをタブレットで確認する。 ○音で聞いた数字を数え棒で表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十進位取り記数法のしくみについて、自分で言葉カードを動かしたり、数字を打ち込んだりして印象づける。
まとめ (8分)	<ul style="list-style-type: none"> ○端末に配付した練習問題をする。 【写真3】 ○本時の感想、わかったことなどをワークシートに書く。 ○ふりかえりを紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自のペースで発表ノートに準備した問題に取り組むことができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1 数え棒を操作しながら、前時の復習している場面



写真2 数字を打ちこみ、表を整理しながら十進位取り記数法について学んでいる場面



写真3 自分のペースで、様々な問題に取り組んでいる場面

児童生徒の反応や変容

前時の授業で、実物の数え棒を使ったが、本時では、すべてタブレット上で行った。数え棒を数えたりまとめたりする手間もなく、10の束やばらの棒を簡単にコピーして増やしたり、動かしたりするだけで進められたのが、児童にとっても扱いやすかったようだ。また、キーボードの数字を打つことで、答えの入力も簡単に行えた。「十の位」や「一の位」の説明も、「10の束のへや」と「ばらのへや」から名前をその場でかえるだけでわかりやす行えた。

また、用意した問題を自分たちで、どんどん解いていく意欲的な姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

特に低学年においては、ブロックや数え棒などの具体物を使って、数の概念について学んでいくことも大事にしたいという思いから、本単元の中でも具体物を活用する場面もあるが、タブレット上で行くと、机の上はノートや教科書を置きながらも、同時に操作も行える良さがある。また、学習活動を記録として残すことができる。活動内容によって、タブレットとそれ以外の教材のどちらが適しているか、より効果的な活用法を探っていきたい。